

臨床データ利用のお願い

豊田厚生病院では、以下の研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることを希望されない場合など、お問い合わせがありましたら以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

当院における Wallenberg 症候群の嚥下障害症例 11 例の臨床的検討

2. 研究責任者

JA 愛知厚生連 豊田厚生病院 リハビリテーション技術科 萩野周作

3. 共同研究者

JA 愛知厚生連 豊田厚生病院 総合内科 渡口賢隆

JA 愛知厚生連 豊田厚生病院 脳神経内科 伊藤瑞規

4. 研究対象とする機関

JA 愛知厚生連 豊田厚生病院

5. 研究の概要

高齢者における肺炎のうち嚥下性肺炎の割合は約 7 割といわれており、嚥下機能の低下には脳血管疾患の関与も大きいといわれています。脳血管疾患の中でも特に脳幹の延髄外側部が損傷を受けると球麻痺型の嚥下障害を呈し、重症化することもすくなくありません。延髄外側部の損傷では嚥下障害のほかに構音障害、音声障害、顔面の温痛覚障害、病巣と反対側の体幹・上下肢の温痛覚障害などが生じ、延髄外側症候群または Wallenberg 症候群といわれています。Wallenberg 症候群は言語聴覚士 (ST) の訓練対象として重要な病態であり、嚥下障害の経過が予後に影響を与えます。本研究では近年 Wallenberg 症候群と診断された症例のうち嚥下障害を認めた 11 症例を対象に臨床的特徴の検討を行うことを目的としています。

6. 研究の方法

①対象となる患者さん

2016 年 1 月から 2019 年 4 月までの間に当院で Wallenberg 症候群と診断され、嚥下障害を呈した 11 例について後方視的検討を行います。

②調査項目

電子カルテから下記の情報を調査します。

- 身体所見 (年齢、性別)
- 入院時の所見、経過、転帰
- 画像所見 (頭部 MRI、CT、嚥下造影検査、嚥下内視鏡検査など)
- リハビリ介入時の訓練内容

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：豊田厚生病院 リハビリテーション技術科 萩野周作

〒470-0396

豊田市浄水町伊保原 500-1

電話：0565-43-5000（代表）内線 1750